

会議録

会議の名称	第5回西東京市学校施設適正規模・適正配置等検討懇談会
開催日時	令和8年3月26日(木曜日)午後1時30分から
開催場所	田無庁舎5階会議室
出席者	【委員】藤江座長、中嶋副座長、加藤委員、長谷川委員、真鍋委員 小田委員、大久保委員、辻委員 欠席：高木委員、松永委員、鈴木委員、山本委員、佐々木委員、 【事務局】飯島副参与兼教育企画課長、鈴木教育企画課企画調整係長 中屋教育企画課企画調整係主査、浅水教育企画課企画調整係主任 木藤教育企画課企画調整係主事 【傍聴人】4人
議題	議題1 会議録について 議題2 西東京市学校施設適正規模に関するアンケート調査結果について 議題3 その他
会議資料の名称	資料1 西東京市学校施設適正規模に関するアンケート結果について 資料2 小学校の適正規模について（アンケート結果の分析） 資料3 中学校の適正規模について（アンケート結果の分析）
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
<開会> 議題1 会議録について 第4回会議の会議録内容について、承認。 議題2 西東京市学校施設適正規模に関するアンケート調査結果について ○事務局（教育企画課） （資料1～3について説明） ○座長 ご質問等があれば、伺う。 ○委員 資料1の「5 回答状況」において、「小学生調査」及び「中学生調査」で「有効回答率」が低くなっているのは、設問が難しく答えづらかったことが原因か。 ○事務局 設問の内容は比較的単純なものであり、小・中学生にとってそれほど難しい設問だったとは感じていない。ただし、小・中学生に対するアンケートは、保護者の方を通じて実施しているため、アンケートの入口は保護者となる。保護者に対する設問については、内容が難しいと感じられる方がいらっしゃったと考えており、その結果として入口が狭まることで、小・中学生の「有効回答率」が低くなったと分析している。 ○委員 保護者の回答数と小・中学生の回答数はそれほど変わらないため、保護者の方を通じて	

お子様もアンケートを実施できているのではないかと。

児童・生徒に対する設問について、児童・生徒は、様々な学級数を経験している教員とは異なり、自身が経験した学級数しか知らないため、今の環境がちょうどいいと回答することは自然なことだと考える。

アンケートの数値は妥当な結果であると感じている。

資料2の「小学校教員 設問7」内の「19～24 学級を学校別に集計」において、けやき小学校と上向台小学校の学級数が1学級しか変わらないにも関わらず、「ちょうどいい」と感じる割合が大きく違いが出ているのは、校舎棟と体育館やプールが別の敷地にある上向台小学校特有の立地によるものであると考える。

○事務局

小・中学生の回答率は25%程度であるが、小・中学生の数に比べると対象となる保護者の数は世帯数がベースとなるため、積算は難しいが、保護者調査の回答率は小・中学生の回答率よりは大きくなってくると考えられる。

○委員

先ほど委員もおっしゃったように、今回のアンケート結果は納得のいく数字であると感じた。

考察の部分にもあるが、異なる学校で同じ学級数であったとしても、施設規模に対して教室数等の余裕があるかどうかで、子ども達の場合はそれぞれ違う。そこを踏まえても不変的なラインとして4～5学級という数字が出てきていると思うので、学校現場にいる立場として納得できる数字である。

○委員

今回のアンケートで、保護者、児童・生徒及び教員は概ね同じような感覚を持っているということがわかった。ちょうどいいと感じる物差しは、それぞれの現在の施設や環境によって異なってくると思うが、今回の結果で概ねデータは取れていると感じる。

○座長

資料3の「中学校教員 設問8」において、5学級の担任教諭が「多いと感じる」44%という数字については、数字だけの判断ではなく、個別の要因を確認した方がよい。4学級から5学級にかけての「多いと感じる」の上り幅については、別の観点からも精査していく必要がある。

○事務局

この設問に関しては、教員、保護者及び保護者を通じて生徒に聞いているため、下段（生徒対象）のグラフも併せて結果をお示ししたが、藤江委員がおっしゃるように、担任対象のグラフは4学級から5学級にかけて「多いと感じる」の割合が、9.1%から44.0%と大きく上昇している。ご意見を踏まえて検討させていただく。

○委員

4学級から5学級の割合の上り幅については、一学年の担当教科を教員ひとりで担当できるかがポイントになると考える。4学級であれば一人で教科を担当できるが、5学級になると別の講師に依頼をしなければならないことがあり、そこが5学級は多いと感じる要

困ではないか。

○座長

単に学校の規模だけではなく、カリキュラム上の時間数等が要因であることが良く分かった。その辺りも数字とは区別して精査する必要があると感じる。

○事務局

本日、資料等について説明したが、会議終了後でも質問やご意見等をお寄せいただけるよう、事務局よりご案内させていただく。

○座長

ただいま事務局からあったように、資料を読み込んでいただき、追加でご意見等があれば、事務局までご連絡いただきたい。

議題3 その他

○事務局

次回会議の詳細については、後日連絡をさせていただく。来年度の委員については、委員変更の可能性があるため、個別に事務局より連絡させていただく。また、本日の会議録については、これまではメールでご確認いただき、次回会議で承認という形をとってきたが、委員変更の可能性もあるため、状況を見ながら対応をさせていただく。本日の会議録の確認については、後日メールで送付させていただく。

<閉会>